



「わからない」がわかると、 勉強のしかたが変わる。

まずは自分で日能研の宿題に取り組む。

わからない問題を自分で見つけて、ユリウスで質問する ——

この繰り返しで、自分で学習を進める習慣をつくり、
成績向上につながっていきます。

ユリウスで 取り組む 3ステップ

1

日能研の宿題に 取り組む

宿題に自分で取り組み、
わからない問題に
印をつける

2

わからない問題を 先生に聞く

ユリウスの授業にて、
印をつけた問題を質問し、
解き方を理解する

3

自分でできるように 練習する

育成テストまでに
わからなかった問題にもう一度、
自分の力で挑戦する

「わからない」をそのままにしないこと。
それが、自分で学習を進める第一歩です。

自分で取り組み、わからないところを見つけ、
質問して解決する。
この繰り返しで自立した学習習慣をつけ、やる気を育み、
成績向上へとつながっていきます。

今の学習が順調なお子さまも、少し困っているお子さまも

個別指導が**お子さまに合うかどうか**も含めて、
この秋、一度試してみませんか。

1 : 2 個別指導(90分)

1 コマ無料

実際の授業を無料で体験できます。

詳しい日程・お申し込み方法は、配付の申込書をご覧ください。

対象 >>> 日能研にお通いの
小学 4・5 年生

期間 >>> 10/5 (月) ~ 10/24 (土)
指導日時はお近くのユリウスとご相談ください。

内容 >>> 日能研授業のフォロー
主に栄冠への道を取り扱います。

科目 >>> 国語 ・ 算数

4 年

5 年

ユリウス 秋の無料体験 申込用紙

こちらのお申込用紙をご記入の上、ご希望のユリウスまでご提出ください。日能研では受け付けておりません。

① お客様情報記入欄

ユリウス希望教室	生徒氏名	保護者氏名
日能研番号	お子様の生年月日	在籍校名
	年 月 日	
電話番号	FAX番号	
住所		

② ご相談内容

現在の学習・志望校に関するご相談がある方はご記入ください。

--

③ 受講科目 【 国語 ・ 算数 】※どちらか1つに「○」をご記入ください。

④ 受講日程 <90分/1対2形式/1コマのみ受講可>

- ・以下の時間割よりご希望の日時を第三希望まで○印でご記入ください。
- ・日能研で学習された翌日以降の体験指導受講がおすすめです。
- ・日能研の授業やテストと重複しないよう、ご注意ください。

受講費用
無料

		10月																				
		5月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
①	10：00～11：30							休校							休校							
②	11：35～13：05																					
③	13：30～15：00																					
④	15：05～16：35																					
⑤	16：40～18：10																					
⑥	17：30～19：00																					
⑦	19：05～20：35																					



「親の基準」ではなく、 「子どもの頑張り」を見る。

二人のお子さんの中学受験を経験した母として、
そして約10年ユリウスで多くの親子を見てきたスタッフに
ご自身の子育てをふり返っていただきました。

PROFILE

ユリウス運営スタッフ Aさん

- ・ユリウススタッフ歴 約10年
- ・二人のお子さんの中学受験を経験
- ・現在、お子さんは大学生
ユリウスの指導者としても活躍中



Q1

最初から、お子さんへの声かけには
気をつけていたのですか？

- A. 上の子のときは、テストの結果を見て
「なんでこんな点数なの？」と、スト
レートに言ったこともありました。
小学5年生のころ、ある日、子どもが
「日能研に行かない」と言い出したこ
とがあったんです。
日能研の先生に相談して、子どもと話を
してもらいました。



「お母さんの言葉が、
響きすぎています」

とその時先生から私にも言われました。
「言えばやる子だ」と思っていたけれど、
実は違ったのかもしれない。
そこで初めて、自分の関わり方を
ふり返りました。



第三者（日能研の先生）から私自身に言ってもらえたことも、
とても大きかったと思います。

Q2

それから声のかけ方は変わりましたか？

- A. 下の子のときには、「勉強しなさい」と
言うより、一緒に時間を決めるようにし
ていました。

「今やっていることは、
何時に終わる？」
「じゃあ何時から始めようか」



テストをふり返るときも、悪かったところ
からではなく、「今回、ここは良かったね」と、まず良かったところを伝える
ようにしていました。
今ふり返ると、まだ自分から勉強する時期
ではなかったのかなと思うこともあり
ますが、「一緒にやっていく」関わり方を
大切にしていました。

Q3

今、声のかけ方に悩んでいる保護者に
伝えたいことはありますか？

- A. 大人から見ると「もっとできるでしょう」と思ってしまう。
だから、つい厳しい言葉が出てしまうんですね。
でも、親が思う「ここまではやってほしい」ではなく

子ども自身が頑張っていることを
認めてあげる。

今ふり返ると、それが一番大切なことのように思います。

Q4

家庭だけで抱えきれないときは、
どうすればいいのでしょうか？

- A. 親から言うより、第三者だから届く言葉もあります。

私自身も、日能研の先生からの一言をきっかけに、自分の関
わり方を見直すことができました。
小学生が自分一人で学習計画を立てるのは、なかなか難しい
ものです。
親子だからこそ、勉強のことになるとうまく伝わらないこと
もありますよね。
そんなときは、親とは違う立場の人に任せることも、一つの
方法だと思います。

中学受験を終えた今、思うこと

うちの子どもは、第一志望の学校には進学していません。
ですが、進学先の学校で中高6年間のびのびと過ごし、
今では大学生になって、ユリウスの指導者として生徒たち
を支えています。

第一志望に受からなかったからといって、
その先が決まるわけではないと思います。

受験はもちろん大切。
でも少し肩の力を抜いて、
その子の頑張りや成長を見てあげてもいい。
今はそんな風に思います。

